

大学全体

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

本学のアドミッション・ポリシーは、学則第1条に謳（うた）われた目的並びに各学部・学科の人材育成の目的に沿い、次のとおりとしています。

大学（共通）

岐阜聖徳学園大学は、建学の精神である「仏教精神」に基づく情操教育を大切にする質の高い人間教育を目指しています。真理を探究し、あらゆるいのちの個性を尊重し、自己中心的なところを離れ、世のため人のために尽くすことに喜びを感じずるような人を求めます。

本大学では、上記教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容を踏まえ、入学後の学修に要する学習成果を有する学生を選抜するために、一般入試の他に、推薦入試、大学入試センター試験利用入試などの実施により多様な入学者選抜を行います。

これらの入学者選抜においては、①「知識・技能」②「思考力・判断力・表現力等の能力」③「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」という「学力の3要素」を把握するとともに、各学部・学科の人材育成の目的にかなう資質・能力等を判断するため、試験種別ごとに個別学力検査、大学入試センター試験、調査書、推薦書、取得資格、小論文、面接などを組み合わせ、多面的・総合的に評価を行います。

経済情報学部

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

経済情報学部では、経済、経営、情報の分野に関心があり、そのスキルを積極的に身に付け、社会に貢献したいと考えている人や、大学生活を通してキャリア形成に努め、実社会の発展のために尽くそうという気持ちを持った活力ある人を求めます。例えば、高等学校在学中に簿記・情報・英語などの能力試験に挑戦し、大学でさらに上級の試験を目指したいと考え、取得した能力を活かして経済学及び関連する情報技術を広く学ぼうとする意欲のある人などが望まれます。

一般入試では、調査書により①③を視野に入れつつ、個別学力検査により①②を重点的に評価し、選抜を行います。

推薦入試では、調査書・取得資格により①③、推薦書・小論文・面接により将来の目標や志望した理由及び志望学部に係わる意欲興味関心を捕捉しつつ②③に重点を置いて総合的に評価し、選抜を行います。

大学入試センター試験利用入試では、調査書により①③を視野に入れつつ、大学入試センター試験の得点に基づき①②を重点的に評価し、選抜を行います。

※学力の3要素・・・①「知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力等の能力」、③「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」。